

山本勝正

夏目漱石参考文献目録（平成6年）

單行本の部

- | | | | | | |
|---|-------------------|------------------------------|--------------------------------|----------|------------------|
| ① | 佐渡谷 重信 著 | 『漱石と世紀末芸術』（講談社学術文庫 1110） | 講談社 | 平 6・1・10 | ②昭 57・2・22 |
| ② | 奥山 実 著 | 『漱石の迷走と救い』（近代日本文学と聖書（上）） | マルコ・シユ・パブリケーション
翰林書房 | 平 6・1・15 | 奥付は、『漱石の迷走と福音』 |
| ③ | 小森陽一 編
宮川健太郎 著 | 『総力討論 漱石の「こゝろ」』 | 翰林書房 | 平 6・1・20 | |
| ④ | 加茂 章 著 | 『夏目漱石—その実存主義的接近—』 | 教育出版センター | 平 6・1・25 | |
| ⑤ | 井原三男 著 | 『漱石の謎をとく・彼岸過迄』論』 | 勁草出版
サピスセンター発行
早稲田大学図書発行 | 平 6・2・15 | |
| ⑥ | KENT 井上 著 | 『漱石の世界の男と女』 | 日本図書刊行会発行
近代文芸社 発売 | 平 6・2・17 | |
| ⑦ | 島田 莊司 著 | 『漱石と倫敦ミイラ殺人事件』（光文社文庫 し 5-23） | 光文社 | 平 6・2・20 | ③昭 59・9・25
小説 |
| ⑧ | 村田好哉 編 | 『漱石』三四郎』書誌』 | 翰林書房 | 平 6・2・20 | |
| ⑨ | 村松 剛 著 | 『西欧との対決—漱石から三島、遠藤まで—』 | 新潮社 | 平 6・2・20 | |
| ⑩ | 尹 相仁 著 | 『世紀末と漱石』 | 岩波書店 | 平 6・2・25 | |

- | | | | | |
|----|----------|--|-----------|----------|
| 11 | 重松 泰雄 著 | 『漱石 その歷程』 | おうふう(桜楓社) | 平 6・3・10 |
| 12 | 恒松 郁生 著 | 『こちらロンドン漱石記念館』 | 広済堂出版 | 平 6・3・15 |
| 13 | 木村 直人 著 | 『漱石異説二題 「坊っちゃん」 抱腹・「道草」 徘徊』 | 彩流社 | 平 6・3・20 |
| 14 | 高木 文雄 著 | 『漱石作品の内と外』(近代文学研究叢刊4) | 和泉書院 | 平 6・3・30 |
| 15 | 三田村 信行 著 | 『夏目漱石』
<small>いまも読みつがれる数々の
名作を書き、人間の生き方を
深く追究しつづけた小説家</small> (伝記 世界を変えた人々②⑩) | 偕成社 | 平 6・3 |
| 16 | 水川 隆夫 著 | 『漱石「こゝろ」の謎』(再版) | 彩流社 | 平 6・4・1 |
| 17 | 大野 淳一 編 | 『漱石文学地図』(『漱石全集』附録) | 岩波書店 | 平 6・4・8 |
| 18 | 富永 直久 著 | 『社長としての夏目漱石』 | 学陽書房 | 平 6・4・15 |
| 19 | 佐藤 泰正 著 | 『漱石以後Ⅰ』(佐藤泰正著作集①) | 翰林書房 | 平 6・4・20 |
| 20 | 長中 島裕国 著 | 『夏目漱石の手紙』 | 大修館書店 | 平 6・4・20 |
| 21 | 芳川 泰久 著 | 『漱石論 鏡あるいは夢の書法』 | 河出書房新社 | 平 6・5・20 |
| 22 | 秋山 公男 著 | 『漱石文学考説―初期作品の豊饒性―』 | おうふう(桜楓社) | 平 6・5・25 |
| 23 | 中村 啓 著 | 『鷗外と漱石―思考と感情―』 | 近代文芸社 | 平 6・5・30 |
| 24 | 広田 鋼蔵 著 | 『化学者池田菊苗―漱石・旨味・ドイツ―』(科学のとびら20) | 東京化学同人 | 平 6・5・31 |
| 25 | 楊 璧慈 著 | 『わたくしの漱石先生―異邦人のアプローチ―』 | 近代文芸社 | 平 6・6・10 |
| 26 | 飯島 英一 著 | 『第六潜水艇浮上せず……』―漱石・佐久間艇長・広瀬中佐― | 創造社 | 平 6・7・7 |
| 27 | 塚本 嘉壽 著 | 『漱石、もう一つの宇宙 病跡学的アプローチ』 | 新曜社 | 平 6・7・7 |

児童書
②平元・10・31
②平2・11・19

- ②⑧ 小田島 本 有 著 『語られる経験—夏目漱石・辻邦生をめくって—』 近代文芸社 平 6・7・10
- ②⑨ 福 永 武 彦 著 『現代日本の 鷗外・漱石・龍之介 意中の文士たち①』 (講談社文芸文庫 ふC4) 講談社 平 6・7・10
- ③⑩ 夏目 鏡 子 筆 述 『漱石の思い出』 (文春文庫 な281) 文芸春秋 平 6・7・10
- ③⑪ 柄谷行人・小池清治
小森陽一・芳賀徹 著 『漱石をよむ』 (岩波セミナーブックス48) 岩波書店 平 6・7・15
- ③⑫ 国文学編集部 編 『夏目漱石の全小説を読む』 (併載) 文学批評を読む (改装版) 学燈社 平 6・7・15
- ③⑬ 宗 田 安 正 編 『朝日新聞記者 夏目漱石』 立風書房 平 6・7・29
- ③⑭ 半 藤 一 利 編 『夏目漱石 青春の旅』 (文春文庫ビジュアル版V10-10) 文芸春秋 平 6・8・10
- ③⑮ 権 赫 建 著 『나쓰메소세키 文学世界—작가와 작품연구—』 学士院 平 6・8・20
- ③⑯ 藤 玉 井 敬 淑 之 編 『こゝろ』 (漱石作品論集成【第十卷】) (初版二刷) おうふう(桜楓社) 平 6・8・30
- ③⑰ 長 尾 剛 著 『漱石学入門 吾輩は隣のおじさんである』 (ゴマブックス) ごま書房 平 6・8・30
- ③⑱ 夏 目 伸 六 著 『父・夏目漱石』 (大活字本シリーズ) 上・下 埼玉福祉会 平 6・9・10
- ③⑲ 武 田 秀 夫 著 『セイレーンの誘惑《漱石と賢治》』 現代書館 平 6・9・15
- ④① 土 居 健 郎 著 『漱石の心的世界—「甘え」による作品分析』 弘文堂 平 6・9・15
- ④② 佐々木 英 昭 著 『「新しい女」の到来—平塚らいてうと漱石—』 名古屋大学出版会 平 6・10・20
- ④③ 飯 田 利 行 著 『新訳漱石詩集』 柏書房 平 6・10・25
- ④④ 吉 田 敦 彦 著 『漱石の夢の女』 青土社 平 6・10・25
- ④⑤ 沢 英 彦 著 『漱石文学の愛の構造』 沖積舎 平 6・11・21
- ⑤ 昭 和 31 年 11 月 20 日
底 本 昭 和 31 年 11 月 20 日
公 刊 昭 和 31 年 11 月 20 日
- ⑥ 昭 和 3 年 11 月 23 日
雑誌・特集は、
平 6 誌 1 集 は、
10

④5 久保田 芳太郎 著 『漱石—その志向するもの—』 三弥井書店 平 6・12・10

④6 小林 崇利 著 『現代日本文学の軌跡—漱石から島尾敏雄まで—』 近代文芸社 平 6・12・10

④7 福地義彦編 大河内昭爾監修 『作家たちの愛した味 東京おいしいもの 文学散歩 漱石・島外から昭和まで』 婦人画報社 平 6・12・10
(Ars books 19)

④8 Lin Lien-hsiang (eds.) A SYMPOSIUM ON NATSUME SÔSEKI'S KOKORO (Japanese Studies Monograph Series No. 4) Department of Japanese Studies, National University of Singapore, 1994

雑誌特集の部

① 夏目漱石の全小説を読む (併載) 文学批評を読む 学燈社 平 6・1・10 改裝版 平 6・7・15

② 「特集」今だから、漱石の「個人主義」 「ほんとうの時代」 40号 P H P 研究所 平 6・2・1

③ 夏目漱石を読む 私のベスト1 「リテレル」別冊⑤ 安原 顕編 メタローグ発行 平 6・2・15

④ 「特集」蜘蛛の糸 (小特集) 夏目漱石 「芥川龍之介」 3号 洋々社 平 6・2・21

⑤ 「四文豪と徳富蘇峰」 (逍遙・島外・漱石・露伴) 「(徳富蘇峰記念館) 目録」 12 徳富蘇峰記念館 平 6・2 奥付なし

⑥ 夏目漱石「こころ」特集 「国語研究 つくし野」 17号 福岡県高等学校国語部会 福岡地区 平 6・3・31

⑦ 特集 夏目漱石の湘南 「湘南文学」 6号 湘南文学編集委員会編 神奈川南科大学・湘南短期大学発行 平 6・4・20

⑧ 特集Ⅱ夏目漱石 「プレジデント」 32巻5号 プレジデント社 平 6・5・1

⑨ 特集『三四郎』 ②「漱石研究」 2号 翰林書房 平 6・5・20

⑩ またしても 漱石について

③「早稲田文学」(第八次) 217号

早稲田文学編集室編
早稲田文学会 発行

平 6・6・1

⑪ 特集Ⅱ文人 夏目漱石

「墨コレクシヨン」 1号
〔墨スペシャル〕七月臨時増刊

芸術新聞社

平 6・7・10

〔墨コレクシヨンの増刊、49号、再編集〕

⑫ 特集 夏目漱石

③「太陽」 398号

平凡社

平 6・8・12

⑬ 特集「漱石とセクシャリテイ」

③「漱石研究」 3号

翰林書房

平 6・11・20

⑭ 特集／夏目漱石の千駄木

「谷中・根津・千駄木」其の四十一

谷根千工房

平 6・12・25

〔参 考〕

参考① 雑誌別一覽

「国文学」(「国文学 解釈と教材の研究」)

⑬ 夏目漱石の全小説を読む
(併載)文学批評を読む

「国文学」 39巻2号(567号)

学燈社

平 6・1・10

「漱石研究」

① 特集『漱石と世紀末』

「漱石研究」 創刊号

翰林書房

平 5・10・20

② 特集『三四郎』

「漱石研究」 2号

翰林書房

平 6・5・20

③ 特集『漱石とセクシャリテイ』

「漱石研究」 3号

翰林書房

平 6・11・20

「早稲田文学」

③ またしても 漱石について

「早稲田文学」(第八次) 217号

早稲田文学編集室編
早稲田文学会 発行

平 6・6・1

「太陽」(「太陽」,「別冊太陽」)

③ 特集 夏目漱石

「太陽」398号

平凡社

平6・8・12

「夏目漱石参考文献目録」 「夏目漱石参考文献目録 Ⅱ」 「夏目漱石参考文献目録 Ⅲ」 「夏目漱石参考文献目録 Ⅳ」
「夏目漱石参考文献目録 V」 補記

前に発表した「夏目漱石参考文献目録」(「国語国文学誌」20号 平成2年12月)、「夏目漱石参考文献目録 Ⅱ」(「広島女学院大学日本文学」創刊号 平成3年7月)、「夏目漱石参考文献目録 Ⅲ」(「広島女学院大学日本文学」2号 平成4年7月)、「夏目漱石参考文献目録 Ⅳ」(「広島女学院大学日本文学」3号 平成5年7月)、「夏目漱石参考文献目録 V」(「広島女学院大学日本文学」4号 平成6年7月)の遺漏、誤記についての補記を次に掲載する。補記の作成にあたって、今回も、多くの方々のご教示を参考にさせていただいた。

単行本の部

- | | | | | | |
|---|---------------|----------------------------------|--------|----------|------------------------------------|
| ① | 高 浜 虚 子 著 | 『漱石氏と私』(四版) | 阿蘭陀書房 | 大7・6・28 | ②大7・1・13 |
| ② | 蓑 村 雨 男 著 | 『漱石の猫は吾輩である』 | 精華堂書店 | 大9・3・10 | 小説 |
| ③ | 黒 柳 勲 編 | 『ペン』 <small>紅子規
漱石書翰</small> | 大阪屋号書店 | 大13・6・15 | |
| ④ | 鎌 倉 幸 光 編 | 『漱石文獻目録稿』 | (私家版) | 昭9・5・13 | 奥付なし |
| ⑤ | 内 田 百 閒 著 | 『贗作吾輩は猫である』(河出文庫24)(特装版) | 河出書房 | 昭31・1・15 | ④ <small>昭25
小説</small> 大7・4・5 |
| ⑥ | 夏 岡 鏡 子 讓 筆 述 | 『漱石の思ひ出』(角川文庫740) | 角川書店 | 昭41・3・20 | ⑤ <small>昭3</small> 大7・11・23 |

- | | | | | |
|----|--------------------------|--|------------|------------------------------|
| ⑦ | 子規・漱石・極堂
生誕百年祭実行委員会 編 | 『正岡子規 夏目漱石 柳原極堂 生誕百年祭記録』 | 昭和43・2・19 | 子規・漱石・極堂
生誕百年祭実行委員会 |
| ⑧ | 福永武彦著 | 『意中の文士たち 上』 | 昭和48・6・20 | 人文書院 |
| ⑨ | 水谷昭夫著 | 『漱石文芸の世界』 | 昭和48・11・25 | 桜楓社 |
| ⑩ | 鈴木敏幸著 | 『修善寺以後の漱石』 | 昭和50・2・20 | 倭寇社 |
| ⑪ | 飯田利行著 | 『漱石詩集訳』 | 昭和51・6・30 | 国書刊行会 |
| ⑫ | 水谷昭夫著 | 『漱石文芸の世界』(改訂版) | 昭和54・4・25 | 桜楓社 |
| ⑬ | 内田百閒著 | 『贗作吾輩は猫である』 | 昭和55・10・25 | 六興出版 |
| ⑭ | 佐渡谷重信著 | 『漱石と世紀末芸術』 | 昭和57・2・22 | 美術公論社 |
| ⑮ | 内田百閒著 | 『贗作吾輩は猫である』(旺文社文庫121-34) | 昭和59・1・25 | 旺文社 |
| ⑯ | 中山俊一著 | 『漱石文学覚え書』 | 昭和59・10・14 | (私家版) |
| ⑰ | 楊麗雅著 | 『文学作品における比喩表現の研究——夏目漱石の文学を通して——』 | 平成元・7・31 | (筑波大学) |
| ⑱ | 水川隆夫著 | 『漱石「こゝろ」の謎』 | 平成元・10・31 | 彩流社 |
| ⑲ | 久山康著 | 『夏目漱石とドストエフスキイ——近代化と伝統——』 | 平成2・6・24 | 国際日本研究所発行
創文社発売 |
| ⑳ | 大野淳一編 | 『漱石文学地図』(『漱石文学作品集』附録) | 平成2・11・19 | 岩波書店 |
| ㉑ | 藤玉井井淑敬編 | 『こゝろ』(漱石作品論集成【第十卷】) | 平成3・4・10 | 桜楓社 |
| ㉒ | 田村宏著 | 『漱石の俳句と漢詩——詩歌療法的見地から——』 | 平成3・5・1 | (東京女子医科大学)
(『日本病跡学雑誌41号』) |
| ㉓△ | 曾秋桂著 | 『森鷗外と夏目漱石——漢詩創作を軸にして』(別巻) 〔『海外漢詩研究資料集(『用字索引編』) 〔『海外漢詩研究資料集(『漢詩訳語編』) 〕〕 | 平成5・1 | (広島大学) |

博士論文
奥付なし
未刊

博士論文
雑誌掲載

博士論文
奥付なし
未刊

⑥
小説25・4・5

⑤
小説25・4・5

②
昭和48・11・25

①
昭和50・6・25

①
昭和51・6・30

①
昭和50・6・25

①
昭和50・6・25

①
昭和50・6・25

①
昭和50・6・25

①
昭和50・6・25

雑誌特集の部

- ① 夏目漱石特集 「近代文学研究」 12号 東洋大学国語国文学会
近代文学研究会 昭40・11・20

- ② 「閃光」 夏目漱石生誕百年記念号 文学会・近代文学研究会
(中央大学) 昭41・3 特集名なし。
すべて漱石論

- ③ 「蒼鉛」 3号 山本隆一編 昭49・11・1 特集名なし。
すべて漱石論

- ④ (座談会
現代によみがえる夏目漱石
—新版「漱石全集」にちなんで—)
「有鄰」 312号 有隣堂 平5・11・10 特集名なし。

- ⑤ スクラップ特集1
漱石文学の再燃と特異な作家の評伝 「本」 データ・ファイル 11号 資料工房テクネ 平5・12・20 平成6年1月号

※ 改訂、追加の箇所、傍線(〓)を付した。

(本学教授)